

名古屋市博物館

年 報

平成25年度

No. 37

名古屋市博物館

はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関わる資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、平成25年度に実施したそれらの事業の概要を報告するものです。

資料の収集、調査研究活動としては、228件、3079点の資料を収集し、調査研究を進めました。また、今年度より、収集した資料の保存修復のための寄付を募り、資料の活用へとつなげる事業「よみがえれ文化財」をはじめました。

また7月～9月の間、東日本大震災の復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査のため、岩手県宮古市に職員を派遣しました。こうした経験をいかし、各種の災害に備えて、資料の保護対策を進めることが喫緊の課題となっています。

展覧会では、5本の共催展と企画展1本を開催いたしました。共催展としては、世界の優れた文化遺産を紹介する「中国 王朝の至宝」、浮世絵の名作を世界から集めた「大浮世絵展」のほか、江戸時代以来親しまれているマジックを、ワークショップなどからめて紹介した「マジックの時間」、愛知県と共催で奥三河の文化財を紹介した「奥三河のくらしと花祭・田楽」、大学との共催で行った「文字のチカラ」を開催しました。特別コレクション展として、当館収集のやきものを紹介した「尾張のやきもの一古陶を楽しむ！」を開催しました。

常設展では、展示にあわせて「講談と落語を聞く会」を開催したほか、職員の派遣を契機として、岩手県の宮古市との交流展示を行うなど、話題づくりに努めました。また、毎冬恒例の「くらしのうつりかわり」では、戦中から高度成長期までのくらしの変化を紹介しました。小学校の授業内容に対応させており、市内の95%以上の小学校3年生が見学に訪れました。

これらに加え、まが玉づくりや少し昔のおもちゃでの遊びを体験できる「歴史体験セミナー」、学芸員の研究テーマやタイムリーな話題をお伝えする「はくぶつかん講座」、地域の皆様とともに開催した「はくぶつかんのなつまつり」などの行事を行いました。なつまつり期間中に名古屋市立大学と連携して行った「ナイトミュージアム」では、資料を楽しく紹介し、好評を得ました。

名古屋市博物館はこれからも、地域の歴史・文化を紹介するとともに、楽しく親しみやすい博物館をめざし、職員一同努めて参ります。皆様のご助力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成26年 6 月

名古屋市博物館

目 次

はじめに

事業概要

I 展 示 -----	3
1 常設展 2 企画展 3 共催展 4 イキイキ博物館	
II 教育・普及 -----	10
1 広報 2 団体観覧 3 教育活動 4 刊行物	
5 友の会 6 大学パートナーシップ	
III 資 料 -----	12
1 調査 2 収集 3 特別利用 4 資料の貸出	

収集資料目録

I 受贈資料一覧 -----	18
II 指定・認定文化財一覧（館蔵資料） -----	22
III 指定・認定文化財一覧（受託資料） -----	23

分 館

I 名古屋市蓬左文庫 -----	25
1 閲覧 2 展示 3 蓬左文庫講座 4 催事等 5 特別利用 6 複写	
7 資料点数 8 資料の貸出 9 指定文化財一覧（所蔵資料）	
II 名古屋市秀吉清正記念館 -----	29
1 展示 2 催事等 3 特別利用 4 資料の貸出	
5 資料収集状況 6 指定文化財一覧（館蔵資料）	

機 構 ----- 32

名古屋市博物館協議会開催状況 ----- 34

予 算 ----- 34

名古屋市博物館利用状況 ----- 35

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1 企画展・共催展 | 2 常設展 | 3 月別入場者数 |
| 4 ギャラリー・講堂利用日数 | 5 年度別入場者数 | |

出版物案内 ----- 40

事業概要

I 展示

1 常設展

常設展は旧石器時代から現代までの尾張の歴史を16のテーマに分け、約1,000点の実物・複製資料により紹介している。愛知県と連携して作成した三河など周辺地域にも関連する複製資料も展示し、より広い視点で尾張の歴史を紹介している。

長期間展示できない資料や新収品などはフリールームやテーマ10で、小テーマを設定して展示している。本年度は、「土器の美・石器の美」「いざ編まん！信長の歴史」「良寛さん」などを開催した。

この他、「話題のコーナー」として、タイムリーな話題提供を試みている。関東大震災から90年目となる機会に、「関東大震災と松坂屋」を開催したほか、享保18年におきた古渡村闇森心中未遂事件から280年に際して行った「名古屋心中」等を開催した。

また、名古屋市の学芸員が東日本大震災の被災地宮古市の埋蔵文化財発掘調査に派遣されるのに合わせて、宮古市の埋蔵文化財を紹介する展示を開催した。

展示解説としては、説明キャプション、写真パネル、コンピュータ画面(しらべえる君)による情報提供、ボランティアによる「展示ガイド」、音声機器による日本語・英語・ハングル・中国語の「音声ガイド」(一般・高大生200円、中学生以下無料)を行っている。

観覧料 一般 300円 高大生 200円

小中生 無料

観覧者数 68,916人

(1) フリールームの展示替

「むかしの道具大集合」

会 期 3月12日～4月14日

展示意図 今では見られなくなった道具を展示し、「これは何？」という驚きをきっかけに、昔の暮らしの知恵を紹介。

展示件数 32件36点

「中国の歴史と文化」

会 期 4月16日～6月23日

展示意図 特別展『中国 王朝の至宝』にあわせて、青銅器や銭貨、青銅鏡など中国の文物を展示し、中国の歴史を彩る多様な文化をより広く紹介。

展示件数 47件97点

「土器の美・石器の美」

会 期 6月26日～8月25日

展示意図 縄文土器の造形や文様、石器の製作技術などに注目して、土器と石器の持つ美しさを紹介。

展示件数 21件48点

「いざ編まん！信長の歴史」

会 期 8月28日～10月20日

展示意図 信長研究の基本文献である『信長公記』の伝来には、江戸時代の織田家が大きく関わっていた。信長の子孫が心血を注いだ、歴史書編纂について紹介。

展示件数 25件92点

「桜誓願寺の天井板絵」

会 期 10月23日～11月24日

展示意図 平成22年(2010)に寄贈された誓願寺裏堂の天井板絵と関連資料を展示。天井板絵の制作動機が、秦鼎の追善にあることを紹介。あわせて同じく追善のために制作された、新出資料の山本梅逸画「秦鼎画像」(個人蔵)を紹介。

展示件数 10件31点

「くらしのうつりかわり」

会 期 11月27日～平成26年3月23日

展示意図 小学3年生の社会科学習内容にあわせ、衣・食・住にかかわる昔の道具を展示。

展示件数 77件81点

「小さな着物の世界」

会 期 3月26日～4月20日

展示意図 裁縫を学ぶために作られた、小さな着物＝着物雛形と裁縫道具を紹介。

展示件数 16件120点

(2) 近世尾張の文化（テーマ10）の展示替

「中国故事を描く」

会 期 4月24日～6月23日

展示意図 特別展「中国 王朝の至宝」関連企画として、日本人にとってもなじみ深かった中国故事の画題を紹介。

展示件数 14件18点。

「良寛さん」

会 期 6月26日～7月21日

展示意図 禅僧にしてすぐれた歌人・詩人でもあった良寛さんの珠玉の真筆を紹介。

展示件数 8件8点

「料紙装飾 唐紙」

会 期 7月24日～8月25日

展示意図 美しく装飾された料紙は文字を引き立てる。さまざまな料紙装飾の中から、平安時代と江戸時代の唐紙を紹介。

展示件数 6件6点

「鞍と鎧」

会 期 8月28日～9月22日

展示意図 名古屋市博物館のコレクションから機能美に優れた鞍や尾張産の鎧など武器馬具を紹介。

展示件数 13件20点

「蒔絵師 山本春正」

会 期 9月25日～10月20日

展示意図 尾張の蒔絵師春正家に伝えられた初代山本春正、五代春正正令の肖像画とともに、当館が所蔵する春正の蒔絵作品を中心に紹介。

展示件数 27件50点

「桜誓願寺の天井板絵」

会 期 10月23日～11月24日

展示意図・展示件数 フリールームに同じ

「くらしのうつりかわり」

会 期 11月27日～平成26年3月23日

展示意図・展示件数 フリールームに同じ

「お江戸ふぁっしょん通信」

会 期 3月26日～4月20日

展示意図 江戸時代後期の公家・武家・町人がまとった着物の特徴を紹介。

展示件数 17件45点

(3) まつり（テーマ16）の展示替

「西枇杷島の山車祭り 泰亨車」

会 期 4月24日～6月23日

展示意図 清須市の西枇杷島祭りで曳き出される泰亨車のからくり人形と^{かじかた}楯方衣装を紹介。

展示件数 2件4点

「尾張の虫送り」

会 期 6月26日～8月25日

展示意図 6月下旬から7月にかけて行われる尾張地方の虫送行事で作られた人形や旗を展示。

展示件数 3件3点。

「名古屋の山車祭り 二福神車」

会 期 8月28日～10月20日

展示意図 毎年10月に行われる中村区花車神明社例大祭で曳き出される二福神車のからくり人形を展示。

展示件数 1件3点。

「棒の手と馬の塔」

会 期 10月23日～平成26年1月26日

展示意図 尾張地方で見られる棒の手と馬の塔を、守山区幸心について紹介。

展示件数 2件13点

「ひな人形」

会 期 1月29日～4月20日

展示意図 御殿飾りのひな人形を展示。あわせて会期中に尾張・西三河地区でひな人形を展示している博物館施設と連携し、スタンプラリーを実施した。

展示点数 1件1点

(4) 話題のコーナー

「伊勢参宮図屏風」

会 期 4月27日～5月6日

展示意図 平成23年(2011)に寄贈を受けた「伊勢参宮図屏風」を20年に一度の伊勢遷宮の年に紹介。あわせて「名古屋市教育基金 よみがえれ文化財」を一般に募る機会とした。

展示件数 「伊勢参宮図屏風」六曲一隻

「七歳の七夕」

会 期 6月26日～8月25日

展示意図 7歳になる年に、他の年以上に盛大に七夕を祝う、東海地方独特の七夕行事を紹介。展示に合わせてアンケート調査も実施した。

展示件数 4件

「関東大震災と松坂屋」

会 期 8月28日～10月20日

展示意図 関東大震災に直面した松坂屋上野店の奮闘状況を、当時の電報や手紙から紹介した。

展示件数 8件

「横井庄一さんのくらしの道具」

会 期 10月23日～平成26年1月13日

展示意図 横井庄一氏のグアム島での生活用具を紹介。('冬'の生活'に対応)

展示件数 29件

「名古屋心中」

会 期 11月27日～12月28日

展示意図 享保18年(1733)に古渡村闇森で遊女と昼屋が心中未遂事件を起こした。浄瑠璃や浮世草子となって評判になった事件を紹介。

展示点数 6件

関連事業

講談と落語を聞く会「名古屋心中の世界」

会 期 11月30日

会 場 常設展ロビー

雷門獅篋(落語)・古池鱗林(講談) 100人

(5) 博物館展示ガイドボランティアの活動

71名(平成26年3月31日現在)がボランティア登録している。

《活動状況》

・休館日を除く毎日、午前10時から午後4時まで活動、毎日2人

・午前11時・午後2時からの定時ガイドのほか、随時ガイドを実施

定時ガイド実施人数 延552人

随時ガイド実施人数 延7,304人

・はくぶつかんのなつまつりの運営補助

7月30日～8月4日 延12人

・くらし体験学習室の運営補助

12月10日(火)～平成26年3月2日(日)の平日 延60人

・歴史体験セミナーの運営補助

「自分だけのまが玉づくり」

8月24日・25日 延6人

「おいしく作ろう おこしもん」

2月22日 延11人

・定例総会 4月13日 1回

・定例会 12月7日 1回

・勉強会の実施 5回

・見学会の実施(秀吉清正記念館他) 2回

2 企画展

(1) 特別コレクション展

尾張のやきもの-古陶をたのしむ！

会 期 9月14日～10月14日（開室日数27日）
会 場 特別展示室
主 催 名古屋市博物館
観 覧 料 一 般 300円 高大生 200円
小中生 無料
観覧者数 2,970人
展示意図 当館が収集した尾張の古代・中世のやきもにより、やきものの移り変わりを紹介した。見るだけでなく、触れ、感じ、その楽しさを発見する機会とした。
展示件数 209件
印 刷 物 図録A4判 ポスターB3判 チラシA4判 観覧券

関連事業

講演会 9月14日
「ひびき合うやきもの-須恵器・灰釉陶器&常滑・瀬戸-」
名古屋市博物館資料委員 赤羽一郎氏 50人
ギャラリートーク 9月15日・22日・29日・10月
6日・13日 計150人
ワークショップ 9月21日
「3Dでやきものに挑戦！」
名古屋市立大学芸術工学部横山研究室 10人

3 共 催 展

(1) 日中国交正常化40周年

特別展「中国 王朝の至宝」

会 期 4月24日～6月23日（開室日数52日）
会 場 特別展示室・部門展示室
主 催 名古屋市博物館、中国文物交流中心、
NHK名古屋放送局、NHKプラネット中部、
中日新聞社
観 覧 料 一 般 1,300円 高大生 900円
小中生 無料
観覧者数 52,054人
展示意図 中国最古の王朝・夏から、宋までに至る中国歴代の王朝の都や中心地域の文

化を対比して、多元的かつダイナミックに展開してきた中国文化の核心に迫った。全展示資料のうち、国宝に相当する「一級文物」が60%を占めた。

展示件数 167件
印 刷 物 図録A4変型判 ポスターB1・B2・B3判
チラシA4判 観覧券

関連事業

記念講演会
4月27日「中国文明の謎」
東京国立博物館学芸企画部長 松本伸之氏 368人
5月11日「中国文明のはじまり」
京都大学人文科学研究所教授 岡村秀典氏 325人
5月25日「中国の分裂と統一」
学芸員 藤井康隆 350人
講座
5月18日「中国各地の文化いろいろ」
学芸員 藤井康隆 145人
展示説明会
4月28日「「中国」の登場」
学芸員 藤井康隆 70人
5月12日「地方と中国」
学芸員 藤井康隆 63人
5月19日「世界的統一帝国の出現」
学芸員 藤井康隆 66人
5月26日「華北の社会と文化」
学芸員 藤井康隆 78人
6月2日「南方の社会と文化」
学芸員 藤井康隆 67人
6月9日「南北の対立」
学芸員 藤井康隆 70人
学習会
6月1日「中国西域の史書を読む会」
学芸員 井上善博 67人
ワークショップ
5月3日・4日「金ばくでかざりを作ろう！」
名古屋仏具研究会・当館学芸員 105人

(2) 平成25年夏休み特別展

「☆ザッツ エンターテインメントショー☆

マジックの時間」

会 期 7月20日～9月1日（開室日数36日）
会 場 特別展示室・部門展示室
主 催 名古屋市博物館、日本経済新聞社、テレビ愛知
観 覧 料 一 般 1,000円 高大生 600円
中学生以下 無料
観覧者数 30,624人
展示意図 奇術研究家、河合勝氏のマジック資料コレクションを中心に、江戸時代から現代に至るマジックの歴史を紹介。
江戸時代の見世物小屋も再現し、展示解説は落語家たちの生の声で行い、実際にマジックを見るショーやワークショップを会期中毎日行った。
展示件数 110件230点
印 刷 物 ガイドブックB5判 ポスターB1・B2・B3判 チラシA3判 観覧券

おもしろ口上（落語家・講談師による展示解説）
解説時間 10:30～、13:00～、15:30～（各15分）
会 場 特別展示室内特設会場
出 演 雷門獅篋氏（落語）、雷門幸福氏（落語）、雷門福三氏（落語）、柳家三亀司氏（曲独楽）、古池鱗林氏（講談）、あおき三朝氏・うたこ氏（ジャグリング・マジック）

マジックショー（プロマジシャンによる展示室でのマジックショー）

実演時間 11:00～、13:30～（各30分）
会 場 部門展示室内特設会場
出 演 田中大貴氏、あおき三朝氏・うたこ氏・タック!!氏、天平氏

ワークショップ

誰でも楽しめる14種類のマジックのうち、1日3種類ずつレクチャーを行った。マジックを見るだけでなく体験することで、マジックに関するより深い理解を目指した。

時 間 10:00～12:00、13:00～16:00
会 場 部門展示室
講 師 愛知教育大学マジックサークル「Shu

ffle」、名古屋大学奇術研究会、南山高等・中学校男子部奇術部、名城大学マジックサークル「しゃっふる」

関連イベント

おどろきのマジックタイム

観 覧 料	一 般	500円	高大生	300円
	小中生	100円		
7月20日	タクマ氏		213人	
7月21日	タクマ氏		221人	
7月26日	風船太郎氏		221人	
8月2日	風船太郎氏		228人	
8月17日	田中大貴氏		222人	
8月24日	タクマ氏		223人	
9月1日	田中大貴氏		219人	

講演会プラスマジック教室・マジックショー

観覧無料
7月28日 河合勝氏 220人
8月1日 河合勝氏 220人

(3) 特別展「奥三河のくらしと花祭・田楽」

会 期 11月2日～12月15日（開室日数37日）
会 場 特別展示室・部門展示室
主 催 名古屋市博物館、愛知県教育委員会
観 覧 料 一 般 600円 高大生 400円
小中生 無料
観覧者数 8,662人
展示意図 愛知県の代表的な民俗芸能である「花祭」と「三河の田楽」、重要有形モン族文化財である「津具の山樵用具及び加工品」を中心に、奥三河の山村に伝えられてきた民俗文化を紹介。
展示件数 404件
印 刷 物 図録A4判 ポスターB2・B3判 チラシA4判 観覧券

関連事業

山ではたらく自動車がやってくる

11月3日 林業機器ハーベスタの実演 100人
会 場 駐車場

チェーンソーアートの実演

11月3日 東栄町青木義大氏実演 100人

会 場 彫塑庭園

津具の花祭の実演

11月4日 設楽町津具花祭保存会 200人

会 場 彫塑庭園

布川の花祭の実演

11月16日 東栄町布川花祭保存会 200人

会 場 講堂

田峯田楽の実演

11月23日 設楽町田峯田楽保存会 200人

会 場 講堂

展示説明会

11月8日 学芸員 竹内弘明 200人

共催事業

花祭を伝える－実演と若手伝承者サミット－

花祭の未来を考える実行委員会主催

11月2日 200人

東栄町月花祭保存会による実演

サミット 司会 イレーネ・デワルト氏

奥三河物産展

11月23日～24日

(4) 特別展「文字のチカラ

－古代東海の文字世界－」

会 期 平成26年1月4日～2月16日

(開室日数37日)

会 場 特別展示室

主 催 名古屋市博物館、愛知県立大学、愛知大学、文化庁

連携大学 名古屋市立大学

協 力 古代の文字と文物の研究会、国立歴史民俗博物館、奈良文化財研究所

観 覧 料 一 般 600円 高大生 400円
小中生 無料

観覧者数 10,491人

展示意図 大学教員・学生と連携し、古代日本の文字文化研究の最新成果を、正倉院流出文書や木簡をはじめとする多様な文化財によって、東海地方を中核に紹介。

展示件数 284点

印 刷 物 展示解説書AB判 ポスターB2・B3判
チラシA4判 観覧券

関連事業

講演会

1月26日「出土文字から見た地方社会」

国立歴史民俗博物館長 平川南氏 180人

シンポジウム

2月2日「古代東海の文字世界」 270人

司会 愛知県立大学教授（古代の文字と文物の研究会長） 犬飼隆氏

名古屋大学教授 古尾谷知浩氏

名古屋市立大学教授 吉田一彦氏

岐阜大学教授 早川万年氏

愛知教育大学教授 西宮秀紀氏

大阪大学准教授 市 大樹氏

講座

1月5日「科学の目で文字を見る」

写真技師 杉浦秀昭、学芸員 加藤和俊 55人

展示説明会

1月11日「千年の時を超えて古代日本人に会う」

学芸員 加藤和俊 80人

歴史体験教室

1月12日「木簡を作る」 39人

愛知大学廣瀬憲雄ゼミの学生、

学芸員 加藤和俊

総合発表会

1月19日「古代文字世界への招待」 145人

愛知県立大学・愛知大学・名古屋市立大学・中京大学の大学院生と学生、若手古代史研究者

展示品解説 1月18日、2月1日・8日・9日

愛知県立大学と愛知大学の大学院生と学生が展示室内で待ち受けて随時解説

(5) 特別展「国際浮世絵学会創立50周年記念 大浮世絵展」

会 期 平成26年3月11日～5月6日

(開室日数49日)

会 場 特別展示室・部門展示室

主 催 名古屋市博物館、国際浮世絵学会、読売新聞社、中京テレビ放送

協 賛 パナソニック

協 力 日本航空

観 覧 料 一 般 1,300円 高大生 900円
小中生 500円

観覧者数 25,404人(3月31日まで)

展示意図 浮世絵の名品を日本国内および世界各地から一堂に集めることで、浮世絵の全史を紹介。浮世絵の“教科書”、“国際選抜”となる展覧会を目指した。

展示件数 340点(展示替えあり)

印 刷 物 図録A4判 ポスターB1・B2・B3判
チラシA4判 観覧券

関連事業

講演会

3月16日「役者絵と美人画の真実」

副館長 神谷 浩 180人

説明会「見返り美人がやってきた！」

3月20日 14:00～、15:00～

元禄時代の再現衣裳を着用したモデルが登場し、学芸員津田卓子が「見返り美人図」について解説。モデルの着付には民族衣裳普及文化協会の協力を得た。

108人

4 イキイキ博物館

(1) はくぶつかんのなつまつり

常設展おもしろクイズラリー

7月30日(火)～8月4日(日)

常設展内で体験をしながらクイズを解き、展示室内に隠された「魔法のことば」を探す「おもしろクイズラリー」を実施した。特別展「マジックの時間」とあわせて来場する姿が多くみられた。

参加者 1,200人

ナイトミュージアム

8月3日(土)・4日(日)の2日間実施

1)博物館2階常設展示室を特別開館 入場無料
19時30分～20時30分

名古屋市立大学の博物館サポーターサークル「M

ARO」の協力を受け、「タイムトラベルの時間ー安倍晴明があやつる式神(しきがみ)といっしょに不思議な旅にでよう」というテーマで観客を誘導し、いつもとは違った常設展を作り上げた。

参加者 1,700人

2)ろうそくの天の川 19:00～21:00

庭園にろうそくを点灯してライトアップ

3)七夕かざり 短冊記入場所を設置

その他、瑞穂通商店街による「はくぶつかん茶屋」、博物館地域連合会「盆踊り」、瑞穂図書館による「夏のこわいおはなし会」(瑞穂図書館集会室にて)が行われた。

(2) はくぶつかん古書市

11月30日(土)～12月8日(日)

郷土史・歴史書の古書販売を、名古屋古書組合の協力により実施した。

関連開催座談会 12月1日(日)

古書談義「おタカラかゴミか、古書の曲がり角」

出演 古書店主のみなさん 聴講無料

参加者 54人

Ⅱ 教育・普及

1 広 報

各展覧会でプレスリリースを作成し、報道機関等への積極的な情報提供を行った。ポスター・チラシの配布方法も最大の効果を生むべく展覧会ごとで調整した。ホームページについては平成26年4月1日からの公開にあわせ全面リニューアルを行った。 ホームページアクセス件数 256,179件

2 団 体 観 覧

団体観覧は、小中高校生による常設展「尾張の歴史」や企画展等の見学と、小学校3年生の「くらしのうつりかわり」・「くらし体験学習室」の見学が主なものである。平成14年度から総合的な学習の時間が設けられ、少人数のグループでの課題をもった「調べ学習」を目的とした来館(25年度は136校3,428人)が主流となっている。

3 教 育 活 動

博物館に親しむとともに、個人の歴史学習意欲の充実を促す目的で教育活動を展開した。今年度で11年目となった「出前歴史セミナー」、「歴史体験セミナー」に加え、児童生徒の常設展見学に資するため「歴史に親しむ事業」として昨年に引き続きワークシートの見直し・改良を行った。また、「くらし体験学習室」は平成14年度から形を変えつつ充実してきた事業である。25年度はギャラリー第7室で行い、常設展示室で行った「くらしのうつりかわり」とあわせて、小学生の実物資料による体験学習効果を促進した。

(1) 出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業 出前ミュージアム」の一環として実施した事業である。学芸員が小中学校に出向き実物資料を用いて説明する場合と、教材の貸し出しを行う場合がある。

「名古屋のまつりとからくり人形」

出前 8校 (18学級 539人)

「土にうもれた名古屋の歴史」

出前 1校 (3学級 83人)

「合戦における火縄銃」 出前 5校 (10学級 293人)

「浮世絵クイズに挑戦」(試行実施)

出前 2校 (4学級 140人)

「東大寺で仏像入門」(試行実施)

出前 3校 (8学級 233人)

合計 出前 19校(43学級 1,288人)

「火おこし体験」 貸出 5校 (12学級 419人)

(2) 歴史体験セミナー

①「むかしのおもちゃで遊ぼう！」

コマ・けん玉・ビー玉・人形など、少し昔のおもちゃで自由に遊ぶ。

7月17日(水)～9月1日(日) 12,156人

②「自分だけのまが玉づくり」

加工しやすい石(滑石)を使ってまが玉を作る。

8月24日(土)・25日(日) 215人

③「おいしく作ろう おこしもん」

ひな祭りにゆかりのある「おこしもん」を作る。

2月22日(土) 110人

合計 12,481人

(3) 歴史に親しむ事業

名古屋市立小中学校の社会科担当教員の協力を得て、小中学生が博物館の常設展示や所蔵資料を効率よく活用できるように具体的な方法について意見を交わした。昨年に引き続いて常設展見学に役立つワークシートの見直しを行った。「出前歴史セミナー」については、新たにプログラム「浮世絵クイズに挑戦」、修学旅行の事前学習となる「東大寺で仏像入門」を開発し、いずれも試行的に実施した。

(4) くらし体験学習室

小学校3年生社会科の「昔の道具とくらし」の学習課程にあわせ、昔の道具に触れ、くらしを体験的に学習できる「くらし体験学習室」を開室した。

学校利用のない土曜・日曜・祝日は広く市民の利用に供した。

期 間 12月10日(火)～平成26年3月2日(日)

団体利用 (平日) 午前9時30分～

計 30日 18,030人(261校)

一般利用 (土・日・祝) 午前9時30分～

計 25日 5,188人

合計 23,218人(引率者832名を含む)

(5) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入れを行った。

職場体験：6校35人、職場訪問：12校93人

(6) 博物館実習生の受け入れ

対 象 大学における博物館関係科目専攻者・
学芸員資格取得予定者

人 数 15人

期 間 8月22日(木)～8月26日(月) 5日間

(7) はくぶつかん講座

聴講無料

第1回 6月29日「土器の美・石器の美」

学芸員 川合剛 68人

第2回 8月31日「『信長公記』と信長の子孫」

学芸員 岡村弘子 198人

第3回 9月7日「関東大震災と松坂屋」

蓬左文庫学芸員 木村慎平 53人

第4回 10月5日「未来につながる屋根瓦の生産」

調査研究員 梶山勝 32人

第5回 10月26日「見上げてごらん桜誓願寺天井

板絵」学芸員 津田卓子 87人

第6回 11月30日「猿猴庵と行く東海道の旅」

学芸員 山本祐子 74人

第7回 12月21日「美術の見方 破綻を愛でる」

調査研究員 小川幹生 44人

第8回 1月25日「国宝『古事記』の発見」

学芸課長 鳥居和之 121人

第9回 2月8日「春をよぶ祭り」

学芸員 井上善博 17人

第10回 3月22日「新しい浮世絵の発見 写楽・

北斎・国芳」

副館長 神谷浩 58人

合計 752人

4 刊行物

「名古屋市博物館だより」(季刊発行)

No. 205～208 A4判 8頁 各3,800部 (無料)

「名古屋市博物館年報」No. 36 (平成24年度)

A4判 36頁 800部 (無料)

「名古屋市博物館研究紀要」第37巻

A4判 68頁 900部 (有料)

「年間行事予定」 A3判 40,000枚 (無料)

猿猴庵の本『東街便覧図略』巻四

A4判 128頁 1500部(有料)

(展覧会に関する印刷物は展示の項に記載)

5 友の会

平成25年度(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

の会員数は、平成26年5月31日現在、正会員183人、
家族会員67人、総計250人である。

館外見学会

(1) 11月3日(日) 参加人数 38人

「秋の奥三河～花祭りの文化を訪ねて」

見学場所 とうえい温泉、花祭り会館・民芸館
・博物館、東栄フェスティバル

(2) 5月14日(水) 参加人数 27人

「風薫る五月～三重の歴史と文化を訪ねて」

見学場所 三重県総合博物館、三重県立美術
館、石水博物館

6 大学パートナーシップ

大学生に博物館の楽しさ素晴らしさを知ってもらうため、平成22年4月1日より大学パートナーシップ事業を始めた。学生証の提示により展覧会を観覧することができたり、展覧会に合わせて実施される展示説明会に加盟大学の枠を設けたりするなど、大学等と博物館の連携をはかった。

6法人10大学：名古屋市立大学、名古屋芸術大学、
学校法人菊武学園(名古屋産業大学・名古屋経営短期大学・
菊武ビジネス専門学校・専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院)、名古屋大学、南山大学、南山短期大学、愛知大学

利用者数 2,483人

Ⅲ 資 料

1 調 査

(1) 資料情報

平成25年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計120件であった。24年度から5件増加であった。寄せられた情報は、住宅等の建替にともなう情報が多いほか、関係者からの紹介に加え、展覧会がきっかけで寄せられる情報も多数含まれた。分野別においては、生活・教育・戦時関係資料を中心とする民俗分野や文書典籍分野が多くあった。

資料情報件数		件 数
地域別	市 内	90件
	市 外	30件
分野別	考 古	4件
	美術工芸	29件
	文書典籍	31件
	民 俗	49件

(2) 調査研究

ア 「松坂屋コレクションの基礎的研究」

平成23-25年度

平成22年度に収蔵した染織関係資料「松坂屋コレクション」について、基礎的なデータを収集する調査研究を実施している。平成25年度は小袖の資料について基本情報カードのデータ作成を完了した。また、常設展示室テーマ10のコーナーで「お江戸ふあっしょん通信」と題して、松坂屋コレクションの小袖や工芸品を江戸時代の流行とともに紹介した。(平成26年3月26日～4月20日)

イ 「秀吉研究の推進」

平成24-26年度

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成25年度は、当該分野の研究者による同文書集の編集委員会を発足させ、26年度の第1巻発刊に向けて計5回の編集会議をおこなった。会議では、天正

11年までの発給文書の編年を検討した。一部の委員による集中審議を2回おこなった。

また、全国の研究施設・博物館へ情報提供依頼を行ったほか、金沢市立玉川図書館近世史料館・東京大学史料編纂所・国立公文書館等での調査を行い、文書の情報の収集につとめた。

ウ 「八事興正寺の研究」

平成24-26年度

昭和区八事に所在する興正寺は、2代尾張藩主徳川光友ゆかりの寺である。平成24年度から文化財・古文書の調査を行っている。平成25年度は引き続き、仏像・絵画を撮影し、あわせて年間行事の記録撮影を行った。

2 収 集

(1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗各分野において基本方針と目標を定め資料の収集をおこなった。

ア 考古分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

〔目 標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土した事が明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

○資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

○資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

イ 美術工芸分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料

日本美術全体の流れの上で基準となる資料

〔目 標〕

- 名古屋を中心とする地域の画家および俳人の書画の収集
- 同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連する資料の収集
- 同上地域の武器・武具の収集
- 同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集
- 陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的に備えるもの等、基準資料たりえるものを収集
- 彫刻については、全国レベルでみての重要資料の収集
- 著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

ウ 文書典籍分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料
日本史全体の流れの上で基準となる資料

〔目 標〕

- 尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集（尾張以外の尾張藩領を含む）
- 尾張関係の典籍の収集（尾張の出版物・尾張に関する人物の著作など）
- 名古屋市街図・地籍図の収集（尾張以外の尾張藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の高い資料）
- 尾張に関する文書・記録、および尾張に関係する人物の文書・記録などの収集
- 尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集
- 地域にこだわらず、古文書学上、基準の様式を具備する各時代の基本的文書の収集
- 地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の収集（代表的な出版物・写本など）
- 著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

エ 民俗分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料
日本民俗全体の上で基準となる資料

〔目 標〕

- 名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具ならびに儀礼・信仰関係用具の収集

- 諸職用具の収集（製品見本、製作工程見本の製作依頼を含む）
- 地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料の積極的な収集
- 商業に関する資料の体系的な収集
- 農具・養蚕具・製糸用具・亜炭採掘用具・漁具については館蔵品の補完的収集
- 絞りについては、海外のものも含む重点的な収集
- 名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具の収集（製作依頼を含む）
- 明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリン、企業が製造した製造機械の収集
- 民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集

(2) 収集資料の概要

平成25年度は、受贈と購入により、228件3,079点の資料を収集した。これにより資料収集の累計は、22,411件242,075点 となった。

受託資料は新たに32件16,237点を受託し11,366件38,662点となった。

ア 考古分野

考古分野では、31件2,405点の資料を収集した。

全て受贈資料で、特筆されるのは、犬山市入鹿池遺跡群を中心とした石器のまとまったコレクションである。寄贈者は入鹿池遺跡群の発見者の一人であり、県内外の遺跡を長年踏査した成果を寄贈いただいた。この中には、入鹿池遺跡群発見の端緒となった磨製石斧や、縄文時代草創期に属する尖頭器が含まれている。また田原市保美貝塚出土資料中には、渥美半島に数少ない旧石器である後期旧石器時代の角錐状石器も見られる。

さらに、春日井市大泉寺町採集資料として石器類を中心に507点の一括資料を受贈した。後期旧石器時代にさかのぼるものを含む縄文時代主体の貴重な資料群である。

また、守山郷土史研究会より、同会で保管されていた守山区を中心とする市内外出土の考古資料を一括で寄贈いただいた。いずれも都市化に伴う開発が進行中であった1970～1980年代を中心に採集されたもので、現在は情報を知り得ない遺跡の実態を伝える資料といえる。

この他、出土地不明ではあるが、朝鮮半島・三国時代の新羅土器1点を受贈した。市内の遺跡からも朝鮮半島系土器の出土例があり、それらの比較参考となるものである。

イ 美術工芸分野

美術工芸分野は、13件71点（含む複製4件4点）の資料を受贈、4件4点の資料を受託した。浮世絵「仁木弾正」ほか（5件11点）、複製浮世絵「東海道五拾三次之内」（4件4点）、「中林竹洞家所用印」（1件42点）、「芥砲」（1件1点）、十二ヵ月発句画賛（1件12点）などである。

「芥砲（かいほう）」は江戸時代後期に作製された短銃であり、箱書きから尾張で作られたものと推定される珍しい資料である。「中林竹洞家所用印」は江戸時代の名古屋を代表する南画家中林竹洞の子孫宅に伝来した印章で、竹洞の代表的な印章と、娘の中林清淑ら子孫の印章が含まれる大変貴重な資料である。「十二ヵ月発句画賛」は、名古屋を代表する江戸中期の俳人横井也有の作で、毎月の風景画に発句を添えた12幅で一揃いのものである。

受託資料として津島市蓮光寺から重要文化財「二河白道図」はじめ2件2点、北名古屋市個人から脇指銘「兼房」はじめ2件2点を受け入れた。「二河白道図」は鎌倉時代後期の浄土信仰美術の優品である。刀剣はすでに受託している尾張藩土石原六左衛門家資料への追加である。

ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、26件124点の資料を受贈した。

受贈資料として特筆すべきものとして、熱田浅井家資料Ⅲがある。熱田浅井家は中世以来の豪族で、近世には尾張藩士となった家と医師となった家に分かれた。今回、家伝来の資料をご寄贈いただいたのは、医師となった家のご子孫である。これまでも、浅井家からは熱田浅井家資料ⅠやⅡなど、10件126点を受贈している。

受託資料としては、宝泉院から良寛の和歌や漢詩などの書幅20福や、昭和切（藤原俊成筆「古今和歌集」断簡）などを含む22件62点を、個人から葉栗郡宮田村（現江南市）の庄屋家に伝来した三輪家文書6,167点をはじめ3件16,169点を受託した。

エ 民俗分野

民俗分野では113件444点の資料を受贈した。

おもな受贈資料として、まず、特別展「奥三河のくらしと花祭・田楽」展の準備を進めるなかで、国指定重要無形民俗文化財の「花祭」関係資料として、平成23～25年の東栄町布川の花祭で使用された湯蓋など計39件105点と、平成20年頃から平成25年にかけて催された東栄町下栗代・中在家・古戸・足込・小林・河内・中設楽・御園と豊根村上黒川・下黒川の花祭で使用された湯蓋など33件123点を収集した。これらには、布川の「剣・鉾」や、小林の「きるめ・みるめ」のように保存会や保存会関係者から直接収集した貴重な資料が含まれている。「花祭」展に関連しては、愛知県指定無形民俗文化財の東栄町布川と小林、新城市能登瀬のしかうち神事に関する資料も各保存会から収集したほか、東栄町小林の旧正月の門飾りを一括で収集した。また設楽町津具において、林業関係の基本的な資料である材木運搬用の櫓「きんま」（木馬）を収集できた。

6～7月に開催した常設展話題のコーナー「七歳の七夕」では、7歳になる年に他の年以上に盛大に七夕を祝う「七歳の七夕」に関するアンケート調査を実施し大きな成果を上げるとともに、西区中小田井や昭和区山脇町などで使用された切子や行灯など計5件を受贈した。

また、「尾張藩学問所明倫堂使用之説」の貼紙がある江戸時代の教授用の見台、明治時代の和洋裁教育資料として貴重な衣服雛形、昭和初年の都心部の裕福な家庭の育児遊戯具である屋内用の滑り台、昭和前期の音楽芸能関係資料である琵琶や免状、伊勢湾台風で大きな被害を受けた白水小学校児童1～6年生の作文「伊勢湾台風記」48綴と6年生の絵画1枚など、教育関係で多彩な資料を収集できたことも、平成25年度の収集の大きな特色である。

このほか、収集が手薄な城下町や周辺地域の商工業や製造業に関する資料として、西区の味噌溜製造販売店や南区の酒造会社に関する資料の収集を進めることができた。

(3)「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため、そのまま展示・活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄付を募った。

○対象とする主な事業

- ・伊勢参宮図屏風の修復
 - ・古墳時代の刀剣の保存処理
 - ・戦後の名古屋を写した写真資料のデジタル化および公開
- 上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

○平成25年度実績

50件 11,740,500円

○寄付者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

三嶋屋 細野豊晴、林幸司、木越律子、富士シリシア化学株式会社 名古屋営業所、山田清子、山田克哉、株式会社 三勇商店、飯田和子、大野勝藏、瑞穂通商店街振興組合、伊藤正裕、磯貝紀枝、近藤道子、加藤博司、カニエプロパン株式会社代表取締役会長 黒川公明、榊原康司、佐久間洋一、ITC名古屋クラブ、加藤玲子、加藤景之、株式会社 カトウスタジオ、株式会社 中央工芸、株式会社 ニホンディスプレイ

【平成25年度名古屋市博物館資料収集状況】

平成25. 4. 1 ～ 26. 3. 31							総合計（平成26. 3. 31現在）					
	受 贈		購 入		計		受 贈		購 入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0 総 集	5	5	-	-	5	5	47	115	156	206	203	321
1 考 古	31	2,405	-	-	31	2,405	2,425	115,487	283	1,717	2,708	117,204
2 絵 画												
3 彫 刻												
4 工 芸	9	67	32*	32*	41	99	2,019	13,657	792	1,229	2,811	14,886
5 文 献	38	126	-	-	38	126	6,795	47,414	2,032	18,254	8,827	65,668
6 生 活												
7 生 産	113	444	-	-	113	444	7,563	42,652	270	1,216	7,833	43,868
8 民 族												
9 自 然	-	-	-	-	-	-	29	128	-	-	29	128
計	196	3,047	32	32	228	3,079	18,878	219,453	3,533	22,622	22,411	242,075

*基金からの買い戻し(基金による購入は買い戻し時に計上)

3 特別利用

	熟覧	模写	模造	拓本	原 板 使 用			撮 影			合計
					(1)	(2)	小 計	(1)	(2)	小 計	
利用申請件数	33件	1件	0件	0件	154件	22件	176件	6件	5件	11件	221件
資料件点数	310件 443点	1件 1点	0件 0点	0件 0点	258件 291点	31件 33点	289件 324点	7件 7点	7件 7点	14件 14点	614件 782点

(1) 出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的 (2) 調査研究目的

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4月1日～ 26年3月31日	名古屋市見晴台考古 資料館	常設展 4月1日～26年3月31日	銅鐸形土製品(複製) 1件1点
4月1日～ 26年3月31日	美濃加茂市民ミュージ アム	常設展 4月1日～26年3月31日	二ツ塚遺跡出土資料のうち 石匙 はじめ11件43点
4月1日～6月30日	サントリー美術館	「もののあはれ」 4月1日～6月30日	秋草鶉図屏風はじめ 3件5点
4月1日～6月28日	米沢市上杉博物館	「戦国のメモリー」 4月13日～6月16日	長篠合戦図屏風 1件1点
4月9日～5月29日	蓬左文庫	「名古屋城・下御深井御庭」 4月13日～5月26日	皿 はじめ4件4点
4月17日～ 5月19日	本巣市教育委員会	「赤彩古墳に葬られた人々」 4月27日～5月6日	器台 はじめ5件51点
5月1日～ 7月15日	岐阜市歴史博物館	「岐阜の茶の湯」 5月17日～6月30日	古田織部茶杓 はじめ4件4点
5月8日～7月27日	柿衛文庫	「俳句と遊ぼう・教科書で会う名句」 7月2日～9月7日	一茶筆「やせ蛙」句稿切 1件1点
5月23日～ 8月25日	愛知県陶磁美術館	「日本・中国・韓国－陶磁の名品、ここに 集う」 6月1日～7月28日	瓶子 はじめ2件2点
5月24日～ 7月29日	松江歴史館	「戦国武将堀尾吉晴の軌跡」 5月24日～7月29日	童子吉晴 猪を生け捕る はじめ5件10点
5月29日～ 7月23日	蓬左文庫	「尾張名古屋の絵師たち」 6月1日～7月21日	猿猴庵合集五編 はじめ16件16点
6月6日～7月30日	一宮市三岸節子記念 美術館	「宮脇綾子展」 6月15日～7月28日	あま鯛模様屏風 3件3点
6月17日～ 9月13日	サントリー美術館	「谷文晁」 7月3日～8月25日	涅槃図 1件1点
7月5日～9月15日	和歌山市博物館	「海人の世界 発掘された海辺の暮らし」 7月5日～9月5日	魚形土器 はじめ2件3点
7月24日～ 9月24日	蓬左文庫	「徳川慶勝」 7月27日～9月23日	狂歌百狂 どふけ百万編 はじめ4件4点
9月5日～ 11月16日	名古屋市秀吉清正記 念館	「小牧・長久手の戦い」 10月16日～11月11日	下村家資料のうち 森長可 遺言状 1件1点

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
9月9日～ 11月15日	佐賀県立名護屋城博物館	「秀吉の宇宙～黄金、そして茶の湯～」 9月20日～11月4日	天正大判 1件1点
9月15日～ 12月15日	桑名市博物館	「北斎・広重・国芳」 10月12日～11月24日	葛飾北斎 東海道五十三次 はじめ2件2点
9月20日～ 11月29日	仙台市博物館	「伊達政宗の夢」 9月20日～11月29日	花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕 はじめ3件3点
9月24日～ 11月6日	蓬左文庫	「歌仙 王朝歌人への憧れ」 9月29日～11月4日	三十六詩仙図 1件1点
9月24日～ 12月6日	名古屋城	「巨大城郭 名古屋城」 10月12日～11月24日	旧相応寺障壁画 はじめ9件17点
10月7日～ 11月24日	秀吉清正記念館	「豊臣秀吉」 10月12日～11月17日	尾州長久手合戦図 はじめ8件8点
10月10日～ 12月15日	五島美術館	「光悦一桃山の古典一」 10月26日～12月1日	黒茶碗 銘時雨 はじめ3件3点
10月10日～ 12月5日	田原市博物館	「まぼろしの渥美窯」 10月19日～11月24日	三筋壺 はじめ3件3点
10月22日～ 平成26年1月17日	高浜市やきものの里かわら美術館	「DollsCollection 時をかける等身大人形」 11月16日～12月23日	名古屋関係絵葉書帖 はじめ7件26点
11月6日～ 12月15日	蓬左文庫	「源氏物語の世界」 11月9日～12月13日	源氏物語図屏風 1件1点
12月1日～ 平成26年8月1日	江戸東京博物館、名古屋市中博物館、山口県立美術館	「大浮世絵展」 平成26年1月2日～平成26年7月13日	北国八景之内 うらたんぼ 暮雪 玉屋内白玉 はじめ27件28点
12月3日～ 平成26年2月14日	瀬戸蔵ミュージアム	「古瀬戸中期様式の展開」 12月7日～平成26年2月9日	四耳壺 1件1点
12月15日～ 平成26年2月11日	蓬左文庫	「名所図会の世界」 1月4日～2月11日	名所図会 版木 はじめ8件17点
3月1日～5月23日	府中市美術館	「江戸絵画の19世紀」 3月1日～平成26年5月23日	若竹鶺鴒図屏風 はじめ2件2点
3月4日～5月30日	サントリー美術館	「のぞいてびっくり江戸絵画」 3月1日～5月23日	月の陰忍び逢ふ夜 頭巾 はじめ7件11点
3月14日～ 5月13日	福井市立郷土歴史博物館	「THE 合戦」 3月21日～5月6日	信長記 2件4点
3月25日～ 5月20日	大垣市教育委員会	「芭蕉真筆でたどる『奥の細道』(3)」 3月29日～5月18日	古風壇林蕉風俳人短冊帖 はじめ2件2点

貸出先件数33件

151件280点

収集資料目録

I 受贈資料一覧 (分類順)

分類	資 料 名	点数	時 代
023	歌川広重「東海道五拾三次之内 二川 猿ヶ馬場」(複製)	1点	平成
023	歌川広重「東海道五拾三次之内 御油 旅人留女」(複製)	1点	平成
023	歌川広重「東海道五拾三次之内 藤川 棒鼻ノ図」(複製)	1点	平成
023	歌川広重「東海道五拾三次之内 池鯢鯉 首夏馬市」(複製)	1点	平成
053	愛知県第一区名古屋并熱田全図 (複製)	1点	昭和
100	出土地不明資料	70点	縄文ほか
102	石片	1点	縄文
104	須恵器片	1点	古墳
104	須恵器壺	1点	古墳
104	須恵器片	1点	古墳
104	須恵器瓶	1点	古墳
106	山茶碗	3点	中世
110	川東山遺跡出土資料	439点	旧石器～古墳
110	見晴台遺跡出土資料	101点	縄文～古墳
110	清水寺遺跡出土資料	137点	弥生～古墳
110	清水寺遺跡付近出土資料	9点	弥生～古墳・現代
110	陶器片・貝殻	4点	縄文～中世
110	土器片・陶器片	2点	弥生～中世
110	鉦葉師出土資料	7点	中世～現代
110	春日野町遺跡出土資料	81点	弥生～古墳
110	苗代遺跡出土資料	9点	古墳～中世
110	羽根出土資料	5点	古墳～中世
110	守山区内出土資料	60点	弥生～古墳
110	守山区内出土資料	27点	古墳～中世
110	山脇・大谷遺跡出土資料	390点	弥生～中世
112	牛牧遺跡出土資料	3点	縄文
113	西志賀遺跡出土資料	2点	弥生
113	守山区内出土資料	27点	弥生
114	勝手塚古墳出土資料	225点	古墳後期
114	南社古墳出土資料	2点	古墳後期
114	千種区城山町出土資料	7点	古墳後期
114	守山瓢箪山古墳出土資料	11点	古墳後期

分類	資 料 名	点数	時 代
114	綿神社遺跡出土資料	2点	古墳
114	末森城出土資料	2点	古墳
114	大森八剣出土資料	6点	古墳
114	小幡長塚古墳出土資料	2点	古墳後期
114	松ヶ洞8号墳出土資料	13点	古墳後期
114	松ヶ洞17号墳出土資料	24点	古墳後期
114	小幡南島古墳出土資料	27点	古墳後期
114	守山白山古墳出土資料	7点	古墳
114	断夫山古墳出土資料	132点	古墳後期
114	白鳥古墳出土資料	10点	古墳後期
114	守山瓢箪山古墳出土資料	68点	古墳後期
115	小幡廃寺出土資料	39点	古代
115	山脇・大谷遺跡出土資料	953点	古代
115	小幡花ノ木遺跡出土資料	51点	古代
115	扇田町遺跡出土資料	5点	奈良
115	名古屋市内出土資料	4点	奈良
116	笹ヶ根窯出土資料	131点	中世
116	東山古窯址群出土資料	109点	中世
116	吉根太鼓ヶ根出土資料	3点	中世
116	名古屋市内出土資料	11点	中世
117	志段味焼	6点	明治
117	池下古墳出土資料	1点	近代～現代
119	見返ヶ池出土資料	6点	縄文～古墳
119	樹木遺跡出土資料	1点	不明
119	白鳥遺跡出土資料	1点	不明
119	東谷山出土資料	5点	不明
119	上志段味久岑寺出土資料	1点	不明
119	牛牧遺跡出土資料	42点	不明
119	松ヶ洞出土資料	1点	不明
119	鉦ノ木貝塚出土資料	1点	不明
119	雷貝塚出土資料	2点	不明
119	緑区内出土資料	6点	不明
119	陶器片	1点	不明
120	入鹿池出土資料	9点	不明
120	高蔵寺5号墳出土資料	3点	不明
120	麻生田遺跡出土資料	27点	縄文ほか
120	田原市・保美貝塚出土資料	259点	縄文

分類	資 料 名	点数	時 代
120	春日井市大泉寺町採集資料	507点	縄文
122	犬山市・入鹿池遺跡出土資料	77点	縄文
122	犬山市・上野遺跡出土資料	45点	縄文
122	小牧市・総濠遺跡出土資料	88点	縄文
122	瀬戸市南山口町出土資料	13点	縄文
122	田原市・吉胡遺跡出土資料	19点	縄文
122	豊橋市石巻町・牛川町出土資料	18点	縄文
123	豊川市東上町出土資料	10点	縄文
123	貝殻山貝塚出土資料	239点	弥生
124	白山神社出土資料	6点	古墳後期
124	味美二子山古墳出土資料	31点	古墳後期
125	日進町古窯出土資料	37点	古代
127	印場大塚古墳採集資料	2点	現代
129	篠木遺跡出土資料	1点	不明
129	石	1点	不明
142	与助尾根遺跡出土資料	1点	縄文ほか
156	軒丸瓦	1点	安土桃山
191	新羅土器	1点	朝鮮三国
243	三代歌川豊国「仁木禅正」	1点	江戸後期
243	三代歌川豊国「当世見立三十六花撰 鶏頭花 三莊太夫娘 おさん」	1点	江戸後期
243	歌川芳虎「宇治川大合戦 佐々木梶原先陣之図」	3点	江戸後期
246	十二ヶ月発句画賛 横井也有 自画賛	12点	江戸中期
271	豊原国周「桜門五山桐」	3点	明治
271	豊原国周「歌舞伎座新狂言」	3点	明治
380	中林竹洞家所用印	42点	江戸後期～明治
494	芥砲	1点	江戸後期
495	黒漆塗丸に揚羽紋付陣笠	1点	江戸
501	熱田浅井家資料Ⅲ	一括	江戸～近代
501	森家(立田屋)先祖供養関係資料	36点	江戸～近代
501	小栗鉄次郎葉書	1点	昭和43年4月
504	大森家資料	一括	
522	老中奉書	1点	江戸後期
525	浄土真宗相続の本意につき教状	1点	文政5年11月15日付

分類	資 料 名	点数	時 代
525	窮民施しに付褒状	1点	江戸後期
564	森長明関係唱歌短冊等	1点	江戸時代～近代
572	名勝史蹟名古屋市街全図	1点	大正
590	写真	一括	昭和
591	瀬戸六作・拾作人釜印名細書(瀬戸釜印之写)	1点	
593	古新聞	1点	大正
594	ガラス乾板	一括	明治から昭和
595	鳴海内田牧場写真絵葉書	1点	昭和前期
595	新名古屋駅竣工絵葉書	2点	昭和前期
595	名古屋市電気局市営十五周年記念絵葉書	1点	
595	関東大震災被災状況絵葉書	49点	大正
595	東京地下鉄道絵葉書	3点	昭和前期
595	御大典奉祝名古屋博覧会絵葉書	1点	昭和前期
597	書 呼続町要覧	1点	大正
597	中央線回遊乃しほり	1点	明治
597	大軌参急閑急沿線案内	1点	昭和前期
597	愛電沿線案内	1点	昭和前期
598	広告チラシ	1点	大正
598	中興漢学名家録(番付)	1点	嘉永5年刊
598	明治書画一覧	1点	明治32年刊
598	近世歌人略系	1点	明治22年刊
598	鋳家系	1点	天保5年刊
598	続花押叢	1点	天保7年
598	本朝美術画家大鑑(番付)	1点	明治30年刊
598	楽焼記	1点	江戸時代後期刊
598	型物香合相撲(番付)	1点	近代刊
598	名古屋国技館引札	1点	大正
和い	今様百人一首吾妻錦	1点	明治後刷
和お	御文 第五帖	1点	江戸時代後期刊
和こ	御和賛	1点	文政12年刊
和は	万宝書画全書	3点	文久元年
和ふ	(美術) 婦女礼儀画譜	1点	近代
610	衣服雛形	一括	明治
611	袷 縹色鮫小紋	2点	
611	小袖 納戸色無地	1点	
619	ミシン	1点	大正～昭和前期
624	焼き網	1点	昭和前期

分類	資 料 名	点数	時 代
624	鯉節削り器	1点	昭和後期
628	重箱	一括	大正
629	かき氷機	1点	昭和
635	湯たんぼ	1点	昭和後期
635	行火	1点	昭和後期
635	電球	5点	昭和後期
641	花祭関係資料	103点	2011～13年花祭
641	剣・鉾	1点	2011年花祭
641	宮人の幣	3点	2013年花祭
641	天もん幣	5点	2013年花祭
641	湯ひしゃく	1点	2013年花祭
641	湯缶	2点	2013年花祭
641	湯立ての御幣	1点	2013年花祭
641	氏神様の御幣	1点	2013年花祭
641	添花 青・赤・黄・白・黒	25点	2013年花祭
641	便所幣	1点	2013年花祭
641	ざんざ（たれ）	2点	2013年花祭
641	お幡	2点	2013年花祭
641	ハッ橋	2点	2013年花祭
641	ひいな	2点	2013年花祭
641	鬼部屋の注連縄	1点	2013年花祭
641	鬼部屋のざぜち	7点	2013年花祭
641	茂吉鬼の槌	1点	2013年花祭
641	辻幣	1点	2013年花祭
641	湯蓋	1点	2013年花祭
641	一力花	3点	2013年花祭
641	千道百綱 青 東	1点	2013年花祭
641	蜂の巣	1点	2013年花祭
641	翁の幣	1点	2013年花祭
641	草鞋	3点	2013年花祭未使用
641	やち	3点	2013年花祭
641	湯たぶさ	1点	2013年花祭
641	伴鬼の鉞	6点	2012年花祭
641	一力花	1点	2012年花祭
641	ひいな	3点	2012年花祭
641	きるめ・みるめ様御幣	1点	2013年花祭
641	禰宜御幣	1点	2013年花祭
641	楽前御幣	1点	2013年花祭
641	御旗	4点	2013年花祭
641	祓御幣	2点	2013年花祭

分類	資 料 名	点数	時 代
641	ざぜち	11点	2013年花祭
645	拳銃のおもちや一括	一括	昭和後期
645	カーボーイハット	1点	昭和後期
645	滑り台	1点	昭和前期
645	小倉百人一首標準かるた	1点	大正11年発行
646	中日優勝色紙	1点	昭和後期
646	琵琶関係資料	一括	昭和前期
651	東山動物園植物園入場券	4点	昭和前期
654	紅唐紙	1点	
654	見台「尾張藩学問所明倫堂使用之説」貼紙	1点	江戸後期
659	台秤	1点	昭和
665	旧正月関係資料	一括	平成
665	ひいな	1点	2012年花祭未使用
665	ざんざ（たれ）	1点	2012年花祭未使用
665	お幡	1点	2012年花祭未使用
665	八橋	1点	2012年花祭未使用
665	ざぜち	7点	2012年花祭未使用
665	ざぜち製作見本（駒形）	5点	平成
665	ヤス	6点	2013年正月未使用
665	布川のしかうち神事関係資料	一括	平成
665	能登瀬のしかうち行事の鹿	1点	平成
678	笠	1点	大正時代
683	七夕の切子	2点	昭和後期
683	七夕の飾り（切子1点、提灯1点）	一括	昭和後期
683	七夕の飾り（切子2点、提灯3点、行灯2点）	一括	昭和後期
683	切子	2点	昭和後期
683	行灯	3点	昭和後期
683	七夕の飾り（切子2点、ぼんぼり2点）	一括	昭和後期
684	結納品	1点	昭和後期
684	長持	2点	大正
684	膳碗一括	1点	大正
687	新盆の提灯	2点	昭和後期
692	「火の用心」袋	1点	昭和前期
692	袖搦・刺又	3点	江戸時代
693	伊勢湾台風記	48点	昭和後期
693	伊勢湾台風被災図	1点	昭和後期

分類	資 料 名	点数	時 代
693	伊勢湾台風などの私記録	1点	昭和後期
696	2月20日肅清選挙記念切符	2点	昭和前期
697	奉公袋 中村國男使用	1点	昭和前期
697	陸軍未入営 補充兵手牒 中村國男使用	1点	昭和前期
697	軍人勅諭（明治十五年一月四日下賜）	1点	昭和前期刊
697	「服役について」（ガリ版刷り）	1点	昭和前期刊
697	帝国在郷軍人会会員徽章	1点	昭和前期
712	はねくり備中	1点	大正時代
743	きんま	1点	昭和後期
760	新美家資料	一括	昭和
760	広瀬合名会社関係資料	一括	明治～昭和
762	襦	1点	昭和
770	味噌醤油等販売資料5	一括	昭和
770	大橋家資料	一括	江戸～昭和前期
773	はさみ	1点	大正～昭和前期
782	熱田神宮御遷座祭記念自動車乗車券	2点	昭和前期
782	凱旋歓迎記念乗車券	6点	昭和前期
782	名古屋汎太平洋平和博覧会記念乗車券	12点	昭和前期

分類	資 料 名	点数	時 代
782	自治制発布五十周年記念乗車券	2点	昭和前期
782	市営十五周年記念乗車券	4点	昭和前期
782	紀元二千六百年記念乗車券	11点	昭和前期
782	市制施行記念日乗車券	1点	昭和前期
782	名古屋市電前線定期券	9点	昭和後期
782	皇紀二千六百年記念乗車券	2点	昭和前期
788	紙型「名古屋タイムズ」昭和56年6月27日発行第一面	1点	昭和56年6月27日
791	尾張藩藩札・私札	36点	江戸時代～明治
791	太政官金壹朱札	1点	慶応4年発行
791	大和芝村銀一匁札	3点	延享2年(1745)
791	南都鑑蓮社銀一匁札	2点	江戸
791	加賀 金沢 銭二百文札	2点	江戸
792	民部省金貳朱札	1点	明治2年発行
796	南満洲鉄道株式会社株券	4点	昭和前期

Ⅱ 指定・認定文化財一覧(館蔵資料)

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶉図屏風	1双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1口	鎌倉時代 瀬戸灰釉
3	書	三宝絵	1帖	平安時代 源為憲撰 保安元年(1120)書写奥書
4	工芸	太刀 銘「国泰」	1口	鎌倉時代 肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀 銘「行平作」	1口	鎌倉時代 豊後国行平作
6	工芸	太刀 銘「雲生」	1口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1口	江戸時代 本阿弥光悦作

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1基	弥生時代 伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獣鏡	1面	古墳時代前期 奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領処分状	1幅	南北朝時代 貞和5年(1349)9月15日付 光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1面	室町時代
5	絵	豊泉密竹図	1幅	江戸時代後期 山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1幅	平安時代後期 日野切
7	考古	瓦製光背片	1点	平安時代後期 三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀 銘「備前国住雲次」	1口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀 銘「景安」	1口	鎌倉時代 備前国景安作
10	工芸	太刀 折返銘「吉綱」	1口	鎌倉時代 備前国吉綱作
11	工芸	刀 無銘	1口	鎌倉時代 伝包永
12	工芸	刀 無銘	1口	南北朝時代 伝左

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1口	鎌倉時代後期 瀬戸灰釉 岐阜県出土
2	絵	四季花鳥図屏風	1双	江戸時代後期 山本梅逸筆
3	考古	短甲	1領	古墳時代後期 伝岡崎市出土 25点付属
4	考古	三角縁神獣鏡・六神鏡	2面	古墳時代前期 東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1口	弥生時代中期 岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1口	弥生時代前期 丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襖絵	12面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1隻	安土桃山時代
9	絵	楽々園四季真景図巻	1巻	江戸時代後期 宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1双	江戸時代後期 中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20冊	江戸時代中期

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の畑屋敷馬道具	1式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16点	古墳時代

Ⅲ 指定・認定文化財一覧(受託資料)

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3帖	南北朝時代 宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1巻	奈良時代 宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1巻	平安時代 聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経	100帖	平安時代 七寺所蔵
		唐櫃	1合	
3	絵	騎馬武者像	1幅	室町時代 地藏院所蔵
4	書	無住道曉筆文書	3幅	鎌倉時代 六祖偈・置文・夢想記 長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1双	室町時代 真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隱悟逸墨蹟	1幅	中国元時代 友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3点	平安時代
8	考古	袈裟襴文銅鐸	1基	弥生時代 福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1幅	鎌倉時代 護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1幅	南北朝時代 林昌院所蔵
11	工	短刀 銘了戒	1口	鎌倉時代 了戒作
12	絵	二河白道図	1幅	鎌倉時代 蓮光寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅剣	1口	弥生時代 名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1面	古墳時代後期 名古屋市守山区羽根古墳出土
3	書	後撰集断簡	1幅	白河切 平安～鎌倉時代 法音寺所蔵
4	工芸	壺形土器 有蓋	2点	弥生時代前期 名古屋市北区西志賀遺跡出土
5	工芸	鳥形鈕蓋付高脚埴	1口	古墳時代後期 伝名古屋市瑞穂区師長町出土
6	工芸	経塚関係資料	8点	平安時代後期 大御堂寺所蔵
7	工芸	太刀 無銘 附拵	2点	伝来国光
8	工芸	魚形土器	1点	弥生時代後期 名古屋市南区桜田貝塚出土
9	工芸	インス茶碗	1口	江戸時代前期

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1幅	安土桃山時代 善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1口	弥生時代 北名古屋市伝馬塚出土
3	絵	花鳥図	双幅	中国画 明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1幅	中国画 明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代 狩野常信筆 明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1隻	江戸時代 明眼院所蔵
7	工芸	糸柶蒔絵茶箱	1合	江戸時代 明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1口	中国製 14～16世紀 明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1対	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
13	書	正法眼蔵	15冊	室町時代 乾坤院所蔵
14	美工	田中訥言画蹟	3点	江戸時代後期 釈迦院所蔵 郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24通	鎌倉時代 宝生院蔵

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	龍神唐子人形・龍神太鼓	2点	中之切奉賛会所蔵
2	有形民俗文化財	面かぶり巫女人形ほか	10点	神皇車保存会所蔵
3	工芸	梵鐘	1口	江戸時代前期 水野太郎左衛門鑄造 性高院所蔵
4	絵	地藏菩薩画像	1幅	南北朝時代 地藏寺所蔵
5	有形民俗文化財	白山社山車からくり人形	3点	郷土芸能保存会所蔵
6	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1個	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
7	有形民俗文化財	二福神車山車水引幕ほか	4点	二福神車保存会所蔵
8	有形民俗文化財	更科姫人形頭 ・更科姫鬼女面	2点	紅葉狩車保存会所蔵
9	有形民俗文化財	二福神車山車采振人形	1点	二福神車山車保存会（比良）所蔵
10	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	1括	江戸時代中期～末期

【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	津島市指定文化財	津島神社絵図	1幅	江戸時代
2	愛西市指定文化財	太刀 銘「從備前尾州来兼光…」	1口	鵜多須区所蔵
3	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	80点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵

分 館

I 名古屋市蓬左文庫

1 閲 覧

閲覧日数 296日
閲覧室総利用者数 1,882人
閲覧冊数 1,687件(8,767)冊
(市内839人 県内350人 県外498人)
参考質問 194件

2 展 示

(1) 特別展

観覧料 一 般 1,200円
高大生 700円
小中生 500円
徳川美術館との共通料金

ア 徳川慶勝—知られざる写真家大名の生涯—

会 期 7月27日～9月23日(開室日数52日)
主 催 名古屋市蓬左文庫 徳川美術館
朝日新聞社
入場者数 30,365人
展示意図 幕末・維新期に尾張徳川家の舵取りを担った最後の殿様・徳川慶勝の歿後130年を記念して、政治だけでなく写真・博物学・文芸など多彩な分野で活躍した慶勝の素顔と業績を紹介した。
展示件数 294件

イ 歌仙—王朝歌人への憧れ—

会 期 9月28日～11月4日(開室日数 33日)
主 催 名古屋市蓬左文庫 徳川美術館
中日新聞社
入場者数 22,760人
展示意図 柿本人麻呂や山部赤人など、古来のすぐれた歌人は「歌仙」と呼ばれて後世の憧れの対象になった。鎌倉・室町時代以来の歌仙絵と、17世紀の古典復興の気運の中で製作された歌仙絵の名品を一堂に

会し、歌仙への憧憬の歴史をたどった。

展示件数 161件

(2) 企画展

観覧料 一 般 400円(1,200円)
高大生 300円(700円)
小中生 200円(500円)
()は徳川美術館との共通料金

ア 名古屋城・下御深井御庭—殿様の秘園—

会 期 4月13日～5月26日(開室日数 38日)
主 催 名古屋市蓬左文庫 徳川美術館
入場者数 26,475人
展示意図 名古屋城の北に広がった下御深井御庭。園芸・陶芸・茶の湯などを行う藩主の私的な庭園として整備された「殿様の秘園」をはじめて紹介した。
展示件数 63件

イ ① 尾張名古屋の絵師たち

② 尾張のまつり

会 期 6月1日～7月21日(開室日数 44日)
入場者数 22,369人
展示意図 ① 「名古屋東照宮祭礼図巻」を描いた森高雅や、復古大和絵派の絵師・渡辺清など、尾張を拠点に活躍した絵師たちの作品を紹介した。
② 名古屋城下最大のまつりであった東照宮祭や、津島を中心に尾張各地で行われる天王祭など、江戸時代の尾張のまつりを紹介した。
展示件数 ① 53件 ② 20件

ウ 源氏物語の世界

会 期 11月9日～12月13日(開室日数 30日)
入場者数 21,348人
展示意図 重文「河内本源氏物語」影印出版完結

を記念して、「河内本源氏物語」全冊を
展示するとともに、源氏物語にまつわる
絵画・書籍・工芸品などを展示し、様々
なかたちで享受されてきた『源氏物語』
の世界を紹介した。

展示件数 34件

エ ① 旅をつづる

② 名所図会の世界

会 期 1月4日～2月11日（開室日数 33日）

入場者数 13,208人

展示意図 ① 江戸時代の紀行文や旅日記など、旅
の様子を伝える文芸作品や絵巻を紹介
した。

② 江戸時代後期の旅ブームを背景に各
地で刊行された絵入り地誌「名所図
会」を紹介するとともに、『尾張名
所図会』編さんの背景を紹介した。

展示件数 ① 36件 ② 26件

オ ① ひなの世界

② 大名家の礼法

会 期 2月14日～4月6日（開室日数 46日）

入場者数 38,998人

展示意図 ① 徳川美術館で開催される「尾張徳川
家の雛まつり」展にあわせて、商家の
お雛様を紹介した。

② 尾張徳川家の婚礼・元服などの御用
係を務め、故実礼法を家職とした朝岡
家伝来の小笠原流伝書を中心に、大名
家の礼法的一端を紹介した。

展示件数 ① 37件 ② 28件

3 蓬左文庫講座

尾張藩士あれこれ

尾張藩士たちの実態 を身分や職分、家計
など、さまざまな角度から解説した。

第1回 2月6日「『鸚鵡籠中記』にみる城代
組と同心」

蓬左文庫調査研究員 松村冬樹 66人

第2回 2月14日「家老石河家の財政事情」

名古屋市博物館調査研究員 種田祐司

34人

第3回 2月20日「朝岡（小笠原）家と『小笠
原家伝書』」

蓬左文庫長 桐原千文 53人

会場 徳川園ガーデンホール

主催 名古屋市蓬左文庫

4 催事等

(1) 「第8回桜・二胡音楽会2013」

チャン・ビン二胡演奏団

4月7日 徳川園 1,350人

主催 特定非営利活動法人チャン・ビン二胡
演奏団

共催 徳川園ほか

後援 名古屋市蓬左文庫・徳川美術館ほか

(2) 「徳川園山車揃え」

6月2日 8,000人

主催 徳川園・名古屋市蓬左文庫
徳川美術館

協力 東区役所

(3) 「山車揃えポスター・うちわ展」

6月2日 847人

会場 蓬左文庫講座室

主催 名古屋市蓬左文庫

(4) 「西田久美子さんの朗読で聞く『源氏物語』」

文化遺産を活かした地域活性化事業（文化庁）

「古典の日」啓発事業

講師 西田久美子氏

第一夜 9月19日 150人

第二夜 10月17日 147人

会場 徳川園ガーデンホール

主催 名古屋市蓬左文庫

(5) 「ゆっくりじっくり文化のみち

秋の文化財特別公開とガイドツアー」

①文化財特別公開

10月23日 171人

建中寺

11月23日・24日 1,610人

建中寺 徳源寺 情妙寺 禅隆寺

養念寺 赤塚神明社 主税町教会

ルーテル復活教会 東寺町界限

②文化財見学ツアー

11月16日・17日 35人

建中寺御霊屋 蓬左文庫旧書庫

徳川美術館山の茶屋

参加人数 のべ 1,816人

主催 名古屋文化遺産活用実行委員会

(蓬左文庫・徳川黎明会などで構成)

(6)「蓬左文庫古書市」

10月29日～11月4日 2,628人

会場 蓬左文庫講座室

主催 名古屋市蓬左文庫

(7)「歩こう！文化のみち スタンプラリー」

11月3日 729人

主催 「歩こう！文化のみち」実行委員会

文化のみち推進会議（蓬左文庫・徳川

園・名古屋城などで構成）

(8) カラー版『尾州家河内本源氏物語』完結記念講演会

11月30日『『尾州家河内本源氏物語』について』 100人

天理図書館稀書目録室長 岡島偉久子氏

会場 徳川美術館講堂

主催 名古屋市蓬左文庫

(9)「雛巡りスタンプラリー」

平成26年2月8日～3月16日 53人

会場 蓬左文庫エントランスホール

主催 名古屋文化遺産活用実行委員会

(10)「雛のつるし飾り」

平成26年2月8日～3月16日 4,104人

会場 蓬左文庫エントランスホール・講座室

主催 名古屋市蓬左文庫

協力 五彩ひなのつるし飾り教室（宮田恵美子氏ほか）

5 特別利用

利用件数 161件275点

原板使用（掲載） 106件175点

原板使用（その他） 32件 75点

熟覧 23件 25点

撮影 0件 0点

6 複 写

521件(49,015枚)

7 資料点数

旧蓬左文庫資料 64,845点

江戸時代から名古屋市移管（昭和25年）までに収集された尾張徳川家旧蔵書

名古屋市蓬左文庫収集資料 37,089点

名古屋市移管（昭和25年）以降に収集した資料

名古屋市蓬左文庫受託資料 16,426点

資料総点数 118,360点

8 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	主な貸出資料
4月9日～7月3日	兵庫県立考古博物館	播磨国風土記－神・人・山・海 平成25年4月20日～6月23日	続日本紀 はじめ2件2点
4月17日～7月10日	横浜ユーラシア文化館	マルコ・ポーロが見たユーラシア 平成25年4月27日～6月30日	臨川呉文正公集四十九巻 はじめ4件8点
5月1日～7月15日	岐阜市歴史博物館	岐阜の茶の湯 平成25年5月17日～6月30日	梅花無盡蔵 はじめ3件3点
7月15日～9月15日	刈谷市美術館	刈谷城築城480年記念展 平成25年7月27日～8月25日	梅花無盡蔵 1件1点
9月2日～11月20日	鹿児島県歴史資料センター黎明館	島津重豪 平成25年9月27日～11月3日	薩州府下聖堂之図 はじめ2件2点

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	主な貸出資料
9月18日～11月22日	斎宮歴史博物館	斎宮誕生 平成25年10月5日～11月10日	扶桑略記 第五 1件1点
9月24日～12月6日	名古屋城天守閣	巨大城郭 名古屋城 平成25年10月12日～11月24日	進饌要覧 附録 元・貞 はじめ9件75点
10月8日～11月21日	秀吉清正記念館	豊臣秀次 平成25年10月12日～11月17日	春日井郡清須村古城絵図 1件1点
10月25日 ～12月10日	犬山城白帝文庫	城主のおもてなし 平成25年11月1日～12月10日	源敬様御代 御日記頭書 はじめ10件10点
11月5日 ～平成26年1月14日	鳥取県立博物館	鳥取藩二十二士と明治維新 平成25年11月23日～12月23日	東西紀聞 五・六 1件2点
12月1日 ～平成26年8月15日	①江戸東京博物館 ②名古屋市博物館 ③山口県立美術館	大浮世絵展 ①平成26年1月2日～3月2日 ②3月11日～5月6日、③5月16日～7月13日	近世怪談 霜夜星 1件5点
12月15日 ～平成26年2月23日	名古屋市博物館	文字のチカラ 平成26年1月4日～2月16日	続日本紀 はじめ5件8点
12月25日 ～平成26年2月4日	徳川美術館	新年を祝う 平成26年1月4日～2月2日	万葉集 はじめ14件30点
平成26年3月3日 ～5月30日	サントリー美術館	のぞいてびっくり江戸絵画 平成26年3月29日～5月11日	国芳雑画 1件1点
合 計	貸出先件数 14件		貸出資料件点数 55件149点

9 指定文化財一覧（所蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	続日本紀	30巻 付10巻	鎌倉時代 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代 嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
3	書	斉民要術	22巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付2巻	鎌倉時代 正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10冊	鎌倉時代 元応2年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付29冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35冊	李氏朝鮮 景泰4年（1453）刊

Ⅱ 名古屋市秀吉清正記念館

1 展 示

(1) 常設展

常設展では、豊臣秀吉、加藤清正の生きた時代や彼らの生涯、尾張の戦国武将たちの姿などを、歴史を追って紹介している。わかりやすい展示とするために、パネルや視聴覚機器も使用している。

観 覧 料 無料

観覧者数 43,399人

(2) 特別陳列「豊臣秀次」

会 期 10月12日～11月17日

観 覧 料 無料

観覧者数 4,527人

展示意図 謀反の疑いをかけられ、切腹に迫られた豊臣秀次（秀吉の甥で関白）について、武将・関白としての人物像をそれぞれ紹介し、秀次事件をめぐる情勢をゆかりの品々を通して紹介した。

展示件数 24件24点

印 刷 物 写真入り目録A4判 2,500部
チラシ A4判 4,500部

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

(3) 特集展示「真説・秀吉と清正の絵物語 後編」

会 期 3月12日～4月29日

観覧者数 2,667人（4月1日～）

展示意図 館蔵の「秀吉と清正の絵物語」を3期に分けて展示する第3期目。1592年の第1次朝鮮出兵から1615年の大坂の陣までを紹介した。

(4) パネル展「中村公園いまむかし」

会 期 5月1日～6月9日

観覧者数 4,753人

展示意図 中村公園や大鳥居などを明治期から現在の写真で対比することで、公園とその周辺の景観の変化をたどった。

(5) パネル展「西三河の城」

会 期 6月11日～7月15日

観覧者数 5,299人

展示意図 岡崎城、西尾城など、西三河に残る戦国武将ゆかりの城跡のなかから、建築物が現存、復元または史跡公園として整備されたところを中心に紹介した。

(6) 夏休み特集展示「豊臣秀吉の合戦」

会 期 7月17日～9月1日

観覧者数 6,548人

展示意図 夏休み期間の子ども向け企画。秀吉が得意とした戦法や、戦場での装い、当時の戦い方の特徴などを紹介した。

(7) パネル展「戦国武将と尾張西部の寺社」

会 期 9月3日～10月6日

観覧者数 3,149人

展示意図 津島神社、甚目寺など尾張西部に残る戦国武将ゆかりの寺社から江戸時代以前の建物が現存するところを中心に紹介した。

(8) パネル展「小牧・長久手の戦跡を歩く」

会 期 12月3日～26年2月9日

観覧者数 2,312人

展示意図 清須城跡、小牧城跡をはじめ、小牧・長久手の戦いに関連した城跡、遺跡などを紹介した。

(9) 特集展示「地図を楽しむ」

会 期 26年2月11日～3月23日

観覧者数 3,807人

展示意図 館蔵品の中から古地図を集めて展示し、年代による地理観の相違や、地図の制作意図などを紹介した。

(10) 特集展示「神になった秀吉・清正」
 会 期 26年3月25日～5月18日
 観覧者数 619人(～3月31日)
 展示意図 秀吉は豊国大明神、清正は清正公として、ともに死後、神として祀られるようになった。その信仰の歴史や特色を紹介した。

2 催事等

(1) まるはちの日事業

「まるはち夏の陣 戦国武将にクイズで挑戦だ！」
 常設展示室、特別展示室でクイズラリーを行い、楽しみながら戦国時代に親しめる事業を行った。
 また、兜の試着体験、火縄銃にふれる体験コーナーも設置した。
 8月4日 474人

(2) 夏休み事業

「夏休み自由研究 あなたも戦国チャレンジャー」
 夏休みの自由研究の一助となるよう、来館した小中学生に対して、展示を楽しみながら学ぶことができるよう、ワークシートを配布した。
 期 間 7月20日～9月1日 6,311人

(3) 中村文化プラザ親子映画会

(中村図書館、中村文化小劇場との合同事業)
 8月8日 218人

(4) 中村文化プラザ歴史文化のつどい

(中村図書館、中村文化小劇場との合同事業)
 10月17日 215人
 講演名「豊臣秀次」
 講 師 学芸員 塚原明子

(5) ガイドツアー「戦国武将のふるさと 中村公園を歩こう」

5月19日 125人
 11月9日 75人

3 特別利用

利用件数	53件
利用資料数	
原板使用(掲載)	52件 67点
原板使用(その他)	1件 1点
熟覧	1件 2点

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	主な貸出資料
4月4日 ～6月26日	米沢市立上杉博物館	「戦国のメモリー～合戦図屏風と上杉の記録と」 4月13日～6月16日	茶地動植物人物文様刺繍ビロード陣羽織 1件1点
7月15日 ～9月14日	長浜市長浜城歴史博物館	「秀吉に備えよ！！～羽柴秀吉の中国攻め」 7月20日～9月1日	高台院画像 はじめ5件5点
9月10日 ～11月14日	佐賀県立名護屋城博物館	「秀吉の宇宙－黄金、そして茶の湯－」 9月20日～11月4日	豊臣秀吉自筆覚書(茶会組み合わせ) はじめ4件4点
10月16日 ～12月12日	八代市博物館未来の森ミュージアム	「秀吉が八代にやって来た」 10月25日～12月1日	豊臣秀吉画像 はじめ2件2点
10月23日 ～2月14日	①大阪歴史博物館 ②佐野美術館	日本の造形力 変わり兜×刀装具－その異形とデザイン－ ①11月2日～12月8日 ②1月7日～2月11日	長島帽子形兜(模造) はじめ3件3点
合計	貸出先件数 5件		貸出資料件点数 18件18点

5 資料収集状況

総 合 計（平成26.3.31現在）						
	受 贈		購 入		計	
	件	点	件	点	件	点
絵画	32	40	79	120	111	160
工芸	26	26	24	26	50	52
文書典籍	97	330	67	254	164	584
その他	12	27	3	3	15	30
計	167	423	173	403	340	826

6 指定文化財一覧(館蔵資料)

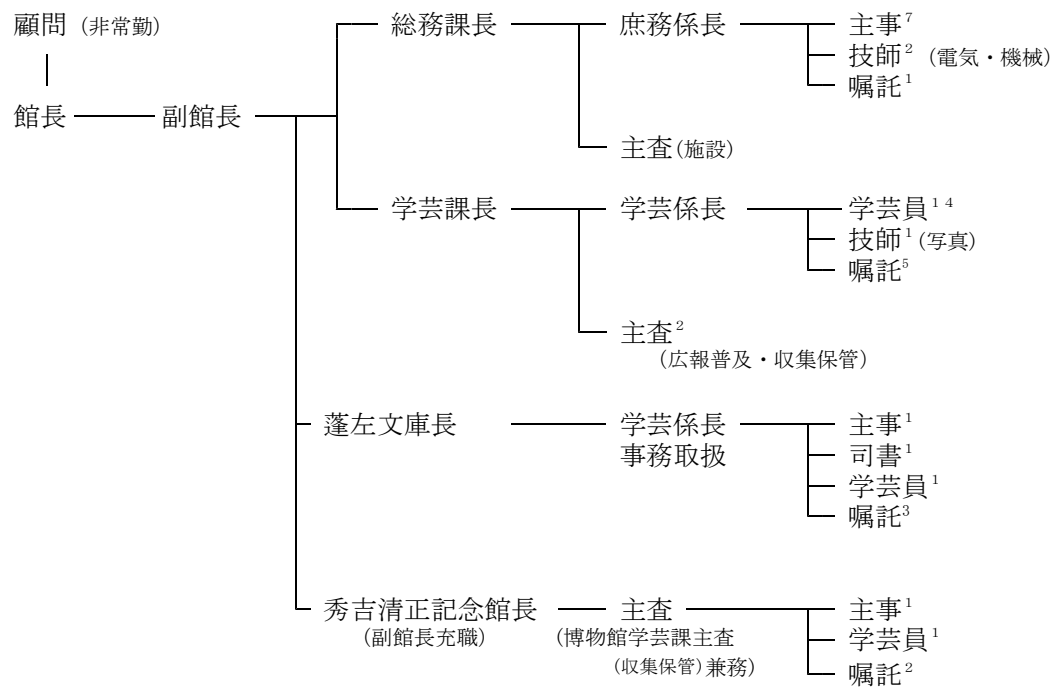
【名古屋市指定文化財】

	種別	資 料 名	数 量	時 代 な ど
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

機 構

(平成26年3月31日現在)

○組織



○博物館職員

顧問 (非常勤)	竹内 正	学芸員	竹内 弘明
館長	伊藤 彰 (25. 4. 1～)		川合 剛
副館長	神谷 浩		井上 善博
総務課長	阪野 吉雄 (25. 4. 1～)		山本 祐子
庶務係長	蘆澤 耕二 (～26. 3. 31)		小嶋 泉
主査(施設)	細江 智裕 (25. 4. 1～)		山田 伸彦
主 事	辻元 康弘		加藤 和俊
	山中 敦詞		岡村 弘子
	山崎 直恵		武藤 真
	近藤 哲史		藤井 康隆
	加藤 多美 (25. 4. 1～)		長谷川 洋一
	木村 進也 (～26. 3. 31)		津田 卓子
	生倉 英一		五味 良子 (～26. 3. 31)
技 師	服部 勉 (25. 4. 1～)		佐野 尚子
	伊神 敏弘		
嘱 託	田中 啓悦	技 師	杉浦 秀昭
		嘱 託	梶山 勝
学芸課長	鳥居 和之		田中 青樹
学芸係長	村木 誠		野村 均 (～26. 3. 31)
主査(広報普及)	鈴木 一郎 (25. 4. 1～)		小川 幹生
主査(収集保管)	瀬川 貴文		種田 祐司 (25. 4. 1～)

○蓬左文庫職員

文庫長	桐原 千文
学芸係長事務取扱	桐原 千文
主 事	高木 忠明
司 書	清水 三代子
学芸員	木村 慎平 (25. 4. 1～)
嘱 託	青木 初代
	松村 冬樹
	吉岡 一

○秀吉清正記念館職員

館長 (博物館副館長充職)	神谷 浩
主 査 (博物館学芸課主査 (収集保管) 兼務)	瀬川 貴文
主 事	岩田 隆志 (～26. 3. 31)
学芸員	塚原 明子 (25. 4. 1～)
嘱 託	土方 八重子
	下村 信博

○名古屋市博物館協議会委員 (◎会長) 順不同

名古屋市立大坪小学校長	小林 啓子 (～25. 6. 6)
名古屋市立船方小学校長	藤本 初美 (25. 6. 7～)
学校法人菊武学園理事長	高木 弘恵
名古屋市立名東高等学校長	鈴木 靖之 (～25. 6. 6)
名古屋市立向陽高等学校長	津金 倫明 (25. 6. 7～)
名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	遠藤 恒子
徳川美術館長	徳川 義崇
熱田神宮宝物館長	宮田 理博
名古屋市立小中学校 P T A 協議会理事	金森美佐子 (～25. 6. 6)
	森 千恵子 (25. 6. 7～)
日本放送協会名古屋放送局長	佐藤 幹夫 (～25. 7. 18)
	吉川 幸司 (25. 7. 19～)
中日新聞社名古屋本社事業局長	山口 宏昭
名古屋造形大学教授	池田 洋子
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝 茂夫

◎岐阜聖徳学園大学教授	安田 徳子
愛知淑徳大学教授	柴垣 勇夫 (～26. 1. 5)
東朋テクノロジー(株)取締役社長	富田 英之
名古屋市博物館資料委員	羽賀 祥二
公募委員	金場 昭子 (26. 1. 6～)

○名古屋市博物館協議会公募委員選考委員会委員 順不同 (25. 10. 17～25. 11. 30)

愛知県美術館長	村田 眞宏
名古屋市教育委員会教育委員長	野田 敦教
名古屋市博物館協議会委員	柴垣 勇夫

○名古屋市博物館資料委員 (◎議長) 順不同

考 古	伊藤 秋男
南山大学名誉教授	八賀 晋
三重大学名誉教授	赤羽 一郎
愛知学院大学非常勤講師	
美術工芸	
◎愛知県銃砲刀剣類登録審査委員	加藤 博司
帝塚山大学人文学部日本文化学科教授	
	源城 政好
桑名市立博物館長	大塚由良美
常葉学園大学教授	日比野秀男
文書・典籍	
名古屋大学文学部・大学院文学研究科教授	
	羽賀 祥二
名古屋大学文学部・大学院文学研究科教授	
	塩村 耕
名古屋短期大学名誉教授	上村喜久子
民 俗	
日本民俗学会会員	津田 豊彦
日本民俗学会会員	伊藤 良吉
日本民具学会会員	野地 恒有 (25. 5. 20～)

名古屋市博物館協議会開催状況

日 時	場 所	議 題
第72回定例会 平成25年 8月22日	名古屋市博物館 第1会議室	前回の博物館協議会での意見等の対応状況について 平成24年度事業報告・決算について 平成25年度事業中間報告について
第73回定例会 平成26年 2月 7日	名古屋市博物館 第1会議室	前回の博物館協議会委員からの意見等について 平成25年度中間事業報告について 平成26年度事業計画、予算（案）について

予 算

○名古屋市博物館

(単位：千円)			
展観事業費	普及費	資料費	管理費
企画展等 4,938	教育普及費 2,695	調査研究費 1,796	事務・施設管理費 152,249
共催展費 73,000	歴史教室等 244	資料購入費 3,000	
展示企画費等 59		その他 4,459	
パートナーシップ事業 360			
常設展運営費 8,337			
準備費 1,400			
88,094	2,939	9,255	152,249
			合計 252,537

○分 館

蓬 左 文 庫		秀吉清正記念館		総 計 (本館・分館総合計)
展観事業費	管理費	展観事業費	管理費	
62,737	44,409	1,332	10,817	
				371,832

名古屋市博物館利用状況

1 企画展・共催展

(単位:人)

	有 料											無 料											計
	個 人				団 体				身体障害者手帳等			個 人			身体障害者手帳等				招待券等	団 体			
	一 般	高 齡 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齡 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	小 中 生	介 護 者		一 般	高 大 生	小 中 生	
I	22,309		912		98		172		1,825	14		47	636	2,529					28,512				57,054
II	9,687		269		1		25		685	16		7	152	13,005					6,777				30,624
III	1,065	324	51		3	0	37					70	38	144	129	3	2	66	1,038	0	0	0	2,970
IV	1,855		62		109		78		226	1		47	141	2,709					3,434				8,662
V	2,558		204		1		81		160	5		268	515	4,562					2,137				10,491
VI	17,553		891	1,133	231		0	277	1,071	12	25	14	290						3,907				25,404
計	55,027	324	2,389	1,133	443	0	393	277	3,967	48	25	453	1,772	22,949	129	3	2	66	45,805	0	0	0	135,205

		開始	終期	日数
I	中国－王朝の至宝	4/24	6/23	52
II	マジックの時間	7/20	9/1	36
III	尾張のやきもの	9/14	10/14	27
IV	奥三河のくらしと花祭・田楽	11/2	12/15	37
V	文字のチカラ	1/4	2/16	37
VI	大浮世絵展	3/11	5/6	49

※ VI「大浮世絵展」の人数は平成25年度内 17日間のもの。

2 常 設 展

(単位:人)

月	有 料						無 料										団体 件数	計
	個 人			団 体			個 人			身体障害者手帳等			招待券等	団 体				
	一般	高齢者	高大生	一般	高齢者	高大生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	介護者		一般	高大生	小中生		
4	1,089	121	54	0	0	0	69	114	286	43	1	18	519	0	0	0	4	2,314
5	2,715	62	206	0	0	0	205	328	493	38	2	19	3,570	0	0	231	12	7,869
6	3,372	81	153	0	0	62	226	107	387	31	1	17	3,714	13	0	827	31	8,991
7	1,068	144	75	0	0	0	447	41	1,065	61	1	38	160	15	6	396	6	3,517
8	3,605	126	280	0	0	0	224	70	4,599	80	2	47	954	0	8	276	16	10,271
9	922	175	59	0	0	0	31	16	449	59	11	31	278	0	0	0	1	2,031
10	538	172	32	0	0	0	265	44	219	61	3	53	293	5	0	111	6	1,796
11	796	109	113	0	0	0	97	25	332	33	0	28	379	5	6	348	14	2,271
12	683	85	71	0	0	0	355	23	424	54	62	52	405	144	0	3,235	12	5,593
1	1,017	32	142	0	0	0	116	29	594	33	1	22	271	395	0	8,302	150	10,954
2	755	63	38	3	46	38	26	71	471	47	3	60	308	440	0	6,199	154	8,568
3	2,718	72	234	11	0	21	199	53	906	51	4	38	434	0	0	0	5	4,741
計	19,278	1,242	1,457	14	46	121	2,260	921	10,225	591	91	423	11,285	1,017	20	19,925	411	68,916

3 月別入場者数

(1) 本 館

(単位:人)

月	常設展	ビデオ コーナー	触れて みる コーナー	収蔵 品展	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	くらし体験 学習室	ナイト ミュージアム	むかしの おもちゃで 遊ぼう	合 計	累 計
4	2,314	569	614	0	0	5,203	10,422	380	218	0	0	0	19,720	19,720
5	7,869	1,396	2,037	0	0	30,333	25,012	845	605	0	0	0	68,097	87,817
6	8,991	1,115	1,702	0	0	21,518	15,248	670	272	0	0	0	49,516	137,333
7	3,517	600	679	0	0	5,849	13,037	1,225	0	0	0	2,056	26,963	164,296
8	10,271	1,489	3,138	0	0	22,739	8,206	1,280	413	0	1,700	9,094	58,330	222,626
9	2,031	514	688	0	1,242	2,036	11,522	396	63	0	0	1,006	19,498	242,124
10	1,796	462	554	0	1,728	0	20,495	238	87	0	0	0	25,360	267,484
11	2,271	491	738	0	0	4,273	46,977	893	114	0	0	0	55,757	323,241
12	5,593	353	623	0	0	4,389	11,566	1,023	98	3,376	0	0	27,021	350,262
1	10,954	470	800	0	0	7,110	2,010	537	295	8,614	0	0	30,790	381,052
2	8,568	407	624	0	0	3,381	9,437	710	177	5,963	0	0	29,267	410,319
3	4,741	730	1,307	0	0	25,404	13,150	346	105	0	0	0	45,783	456,102
計	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	

(2) 蓬左文庫

(単位: 人)

月	開館日数 (日)	有料区域分		無料区域部分		計	累 計
		展 示 室		閲覧室	エントランス ホールのみ		
		共通券	単独券				
4	25	12,709	42	188	2,184	15,123	15,123
5	27	18,087	67	179	1,638	19,971	35,094
6	26	13,399	84	158	1,873	15,514	50,608
7	26	11,040	37	159	900	12,136	62,744
8	28	15,756	0	204	1,213	17,173	79,917
9	25	13,904	0	137	1,287	15,328	95,245
10	27	17,256	0	135	1,853	19,244	114,489
11	26	20,576	24	178	3,175	23,953	138,442
12	13	4,744	22	98	662	5,526	143,968
1	24	8,738	46	121	870	9,775	153,743
2	24	14,249	64	163	2,053	16,529	170,272
3	27	24,711	14	162	2,744	27,631	197,903
計	298	175,169	400	1,882	20,452	197,903	

(3) 秀吉清正記念館

(単位：人)

月	開館日数(日)	入場者数	累 計	備 考
4	24	2,667	2,667	
5	26	3,234	5,901	
6	25	4,835	10,736	
7	25	3,721	14,457	
8	26	4,459	18,916	
9	24	2,697	21,613	
10	26	6,210	27,823	特別陳列-16日 (入場者2,557人)
11	25	5,228	33,051	特別陳列-14日 (入場者1,970人)
12	23	2,397	35,448	
1	23	2,535	37,983	
2	23	2,668	40,651	
3	26	2,748	43,399	
計	296	43,399		

4 ギャラリー・講堂利用日数

室名／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ギャラリー	1	24	26	25	25	22	17	26	25	20	8	23	25	266
	2	6	23	17	5	6	19	19	25	20	5	15	20	180
	3	18	26	19	17	6	19	19	25	20	5	15	20	209
	4	18	26	25	20	22	24	26	25	20	5	21	25	257
	5	24	26	25	19	16	24	26	25	20	3	23	25	256
	6	18	15	25	25	16	24	26	25	20	5	12	17	228
	7	6	20	25	11	4	19	26	25	24	23	23	8	214
	8	24	26	25	18	16	18	21	25	20	8	23	25	249
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
講堂		2.5	7.5	9	11.5	6	3	1	10	7.5	8	5	3.5	74.5
開館日数		24	26	25	25	26	25	26	25	24	23	23	25	297

5 年度別入場者数

(単位:人)

年度	常設展	資料 学習室	ふれてみ る学習室	部門展	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度	常設展	ビデオ ミュージアム	ふれてみ る学習室	収蔵品展	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	くらし体 験学習室	ナイト ミュージ アム	むかしの おもちゃで 遊ぼう	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
計	2,962,610	808,096	616,435	707,190	619,119	5,338,359	11,342,022	625,089	13,465	61,740	3,486	21,714	23,119,325	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年から「ビデオコーナー」

出版物案内

(平成26年3月31日 現在)

出 版 物 名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3 猿猴庵の本		
(第2回配本) 画誌卯之花笠	2001 年	1,200 円
(第3回配本) 新卑姑射文庫	2002 年	1,200 円
(第4回配本) 絵本清洲川・続梵天錦	2002 年	1,200 円
(第5回配本) 新卑姑射文庫 二編	2002 年	1,200 円
(第6回配本) 新卑姑射文庫 三編	2003 年	1,200 円
(第7回配本) 北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004 年	1,200 円
(第8回配本) 御鋤祭真景図略 一	2004 年	1,200 円
(第9回配本) 御鋤祭真景図略 二	2005 年	1,200 円
(第10回配本) 笠寺出現宝塔絵詞伝	2005 年	1,200 円
(第11回配本) 東街便覧図略 巻二	2005 年	1,200 円
(第12回配本) 御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006 年	1,200 円
(第13回配本) 泉涌寺霊宝拝見図・嵯峨霊仏開帳志	2006 年	1,200 円
(第14回配本) 絵本駱駝具誌	2007 年	1,200 円
(第15回配本) 御鋤祭真景図略 三	2008 年	1,200 円
(第16回配本) 萱津道場参詣記	2008 年	1,200 円
(第17回配本) 東街便覧図略 巻三	2010 年	1,200 円
(第18回配本) 絵本音聞山	2011 年	1,200 円
(第19回配本) 絵本上雲雀	2012 年	1,200 円
(第20回配本) 東街便覧図略 巻四	2014 年	1,200 円
展覧会図録		
『特別展』 柳宗悦 生誕百年記念	1988 年	800 円
『特別展』 日本の物語絵	1988 年	800 円
『特別展』 日本の美と匠	1992 年	1,000 円
『特別展』 メトロポリタン美術館 浮世絵名品展	1995 年	1,000 円
(企画展) れきしどうぶつえん	1995 年	300 円
『特別展』 新博物館態勢	1995 年	500 円
『特別展』 妙法院と三十三間堂	1999 年	1,000 円
(企画展) 中林竹溪	1999 年	500 円
(企画展) 川と遺跡(図録とCD-ROM セット)	2000 年	350 円
(企画展) おもしろやきもの展 ハンドブック	2000 年	400 円
『特別展』 北の民 アイヌの世界	2000 年	1,000 円
(企画展) 無病息災 一病を克服する知恵と祈りー	2001 年	700 円
(企画展) 名古屋城下のゴミ事情	2002 年	700 円
『特別展』 盛り場 ー祭り・見世物・大道芸ー	2002 年	900 円
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003 年	700 円
『特別展』 19世紀ウィーンへの旅	2003 年	2,500 円
『特別展』 世紀の祭典 万国博覧会の美術	2005 年	2,500 円
(企画展) 富士見の里 昔の前津 ー江戸から昭和ー	2006 年	800 円
『特別展』 比叡山と東海の至宝	2006 年	2,000 円
(企画展) 城からのぞむ 尾張の戦国時代	2007 年	600 円
『特別展』 からくり ー見る、作る、遊ぶー	2007 年	600 円
『特別展』 茶人のまなざし 森川如春庵の世界	2008 年	2,200 円
『特別展』 尾張名古屋は地下で待つ 城下町大発掘	2008 年	900 円
(企画展) 小栗鉄次郎 ー戦火から国宝を守った男ー	2009 年	700 円
『特別展』 妙心寺 ー禅の心と美ー	2009 年	2,000 円
『特別展』 名古屋400年のあゆみ	2010 年	1,500 円
『特別展』 変革のとき 桃山	2010 年	2,200 円
(企画展) 名古屋タイムズの見た名古屋	2010 年	200 円
『特別展』 古代メキシコ オルメカ文明展	2011 年	2,000 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
『特別展』 狂言でござる	2011 年	1,300 円
『特別展』 芭蕉－広がる世界、深まる心－	2012 年	2,000 円
『特別展』 驚きの博物館コレクション	2013 年	1,000 円
『特別展』 マジックの時間 公式ガイドブック	2013 年	500 円
『特別展』 奥三河のくらしと花祭・田楽	2013 年	900 円
『特別展』 文字のチカラ	2014 年	1,000 円
資料図版目録・館蔵品目録		
館蔵品図録Ⅰ	1982 年	1,000 円
館蔵品図録Ⅱ	1987 年	1,000 円
館蔵品百選	1997 年	1,000 円
館蔵品目録 第2分冊	1997 年	1,200 円
館蔵品目録 第4分冊	2000 年	800 円
資料図版目録2 「高木繁浮世絵コレクション」	2001 年	800 円
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002 年	900 円
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003 年	600 円
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004 年	1,000 円
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション 歌川国貞」	2005 年	900 円
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006 年	700 円
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013 年	700 円
調査研究報告・博物館資料叢書		
博物館資料叢書1 三寶繪	1989 年	3,000 円
調査研究報告Ⅲ 明治期博覧会出品七宝工総覧	1996 年	500 円
調査研究報告Ⅴ 宝玉七宝	2000 年	800 円
調査報告 重要文化財 甚目寺愛染明王坐像	2012 年	1,200 円
名古屋城下お調べ帳(冊子、DVD、マップの3点セット)	2013 年	2,500 円
幕末 城下町名古屋復元マップ(上記のうち、マップのみ)	2013 年	500 円
研究紀要		
名古屋市博物館研究紀要 第12巻	1989 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第15巻	1992 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第16巻	1993 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第17巻	1994 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第19巻	1996 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第20巻	1997 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第21巻	1998 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第22巻	1999 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第23巻	2000 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第24巻	2001 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要 第25巻	2002 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第26巻	2003 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第27巻	2004 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要 第29巻	2006 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第30巻	2007 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要 第31巻	2008 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第32巻	2009 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要 第33巻	2010 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第34巻	2011 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第35巻	2012 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第36巻	2013 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第37巻	2014 年	500 円

名古屋市博物館 年報 No.37
(平成25年度)

発行日 2014年6月30日

編集 名古屋市博物館
発行 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
TEL 052 (853) 2655
FAX 052 (853) 3636